

ボランティア・市民活動情報
月間情報

2020
9月

- : プラザ催しなど
- : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ぼらぶら 休業日

日	曜日	催し物
1	火	
2	水	
3	木	
4	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
		パソコン定期相談 ▲
5	土	育児ファミサポ 救命救急講座 ●
6	日	きらきら書道 ▲
7	月	コミュニケーションマージャン体験会 ▲
8	火	
9	水	
10	木	育児ファミサポ ファミサポってなあに講座 ●
11	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
12	土	
13	日	
14	月	BANBAN しゃべろう会 ■
15	火	
16	水	
17	木	市民活動センター 休館日
18	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
19	土	パソコン定期相談 ▲
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	高齢者ボランティアポイント説明会 ●
26	土	きょうだいかい ふたつばクローバー ▲
27	日	
28	月	BANBAN しゃべろう会 ■
29	火	
30	水	

チームICT
パソコンの定期相談会

チームICTは、市民活動センター施設サポーターとして登録しているサポーターです。パソコンで資料が作りたい。写真を取り込みたいなどご相談ください。

- 日 時：毎月第1・3土曜日 10:00~12:00
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090
- * 申込不要
- *一緒に活動して下さる方を募集しています。

コミュニケーションマージャン
体験会

一つの牌(パイ)がたわしサイズのコミュニケーションマージャンは、2人1組になって「頭」「身体」「口」を動かしながら、和気あいあいと皆で楽しめるレクリエーション素材として人気を集めています。「昔好きだったマージャンで、健康維持ができればいいな!」「今度地域のふれあいサロンでやってみたいけど、ルールがわからない..」この体験会では、そんなコミュニケーションマージャンに興味のある方を対象に、コミュニケーションマージャンの楽しみ方の説明から実践までを体験することができます。家族や友人を誘って、お気軽にご参加ください。

- 日 時：毎月第1・3月曜日 10:00~11:30 (祝日除く)
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 主 催：みきコミュニケまあ~雀「にこにこ」
- 申込・問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

失語症者とその家族の会
BANBANしゃべろう会

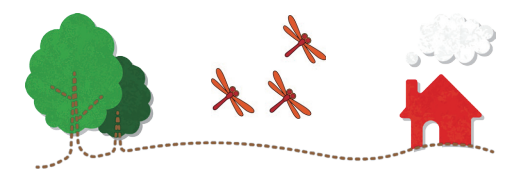
BANBANしゃべろう会は、失語症の方とその家族が情報交換を行いながら交流し、気軽に集える場です。お気軽にお越しください。

- 日 時：9月14日㊦、28日㊦ 14:00~16:00
- 会 場：三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘
- 参加費：100円
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

楽しくTea timeを過ごしませんか?
きょうだいかい ふたつばクローバー

障がいのあるごきょうだいをおもちの方のきょうだいかい。同じよう..一人一人思いがちがうから..皆それぞれの気持ちを話しましょう。

- 日 時：9月26日㊦ 17:00~18:30 奇数月第4土曜日 (参加費:100円/人)
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090



マガジン

ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

(発行)
三木市社会福祉協議会
ボランティア活動プラザみき
〒673-0403
三木市末広 1-6-46
(市民活動センター内)
TEL 0794-83-0090
Fax 0794-82-6666
e-Mail mvsc@miki.or.jp

9

Vol.274
2020.9.1

受講生募集!

要約筆記
ボランティア
入門講座



「マスク」がコミュニケーションの壁に?!

今、感染症対策として欠かせない「マスク」ですが、言葉を読み取るための「口」が見えなくなり、大切な情報が得られにくいと困っている人がいることをご存じでしょうか。

人生の途中で聞こえなくなった人は、手話をすぐに覚えることはわずかしく、口の形を読む「読話」や身振り手振り、筆談、要約筆記などを手段としてコミュニケーションをとります。聴覚障がいの方は外見からは分かりにくいですが、「聞こえにくそうだな」と思われたときは、紙に書いて伝えることで、情報とともに安心感をお届けすることができます。

要約筆記は、聞こえてくる音声の情報を文字に変えて、聴覚に障がいがある方に伝える通訳の活動です。

要約筆記について学びたい!聴覚に障がいがある方を支える活動に携わりたい!など、興味・関心のある方はぜひ入門講座にご参加ください。

市内で要約筆記ボランティアの活動を展開する
「三木要約筆記ダンボ」さんに聞きました!

「要約筆記ボランティア」って?

聴覚に障がいがある方(中途失聴者・難聴者)に文字を使って話の内容を伝える「要約筆記」を通じて、聞こえを保障するとともに、社会参加の機会づくりの一翼を担っています。

三木要約筆記ダンボでは、要約筆記による通訳以外に、難聴部(みみな草会)との交流を楽しんだり、難聴部の活動や企画運営の支援なども行っています。



だから続けられる!活動の魅力

「書いてもらったので、よくわかった。」「ありがとう。」という難聴者のことばにやりがいと喜びを感じます。

また、「新しい出会い」があることも活動の魅力です。責任ある活動をするために、共に切磋琢磨する仲間との出会いや、「身近に困っている人に気軽に声をかけられるようになった」など、新たな自分との出会いも経験できました。



詳しくはこちら!

あなたのご参加をお待ちしています!

要約筆記ボランティア入門講座

- 日時 10/7~10/21 (毎水曜日全3回) 10:00~12:00
- 会場 三木市立市民活動センター
- 対象 要約筆記やボランティア活動に興味・関心がある方
- 内容 ・聴覚障がいを理解する ・要約筆記の体験 など
- 費用 1,000円(資料代等)

問合せ・申込は、ボランティア活動プラザみき(☎83-0090 / fax 82-6666)まで

みきボランティアフェスタ2020開催!!

日時 11/13金・14土・15日
会場 三木市立市民活動センター

基本的な感染症予防に加え、オンラインコミュニケーションツールの導入や、プログラム分散のために複数日開催にするなど、密を防ぐ対策を講じて開催します。例年とは内容が異なりますが、「コロナ禍の今だからこそできるかたち」での実施を予定しています。

※感染拡大状況により、内容を変更する場合があります。

地域住民と協働した開発的な地域づくり

～地域密着型のスーパーで開催した 認知症サポーター養成講座とその後～

◆ 9月は認知症を身近に感じ、正しく知る1ヶ月

毎年9月は「アルツハイマー月間」です。各地で認知症支援に関するイベント開催や、イメージカラーであるオレンジ色のライトアップがみられます。きっかけは1994年9月21日に開催された国際アルツハイマー病協会の国際会議。この場において、アルツハイマー病への理解や患者・家族への支援を進めることをうたった宣言が採択されました。呆けや痴呆と呼ばれていたのはひと昔前。今では誰もがかかる「認知症」という「病気」だという理解が広がり、病いを抱えても暮らし続けることのできる地域づくりが広がっています。

ボラ・プラみきの
アクション・レポート
(15)
～市民のチカラ～

◆ 認知症サポーター養成講座の主催は、コープ志染

7月、コープ志染主催の「認知症サポーター養成講座」が開催されました。認知症サポーターとは、認知症に対する正しい知識と理解をもち、地域で認知症の本人・家族への手助けをする人たちのことです。開催に至ったきっかけは、売り場で接客にあたる職員が「この組合員さん、もしかしたら認知症?」「どんな風に対応すれば、困らずお買い物していただけるかな?」と考える機会が増えたことです。組合員や地域の暮らしを支え豊かにするというコープの組織理念のもと、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進する三木市社会福祉協議会、緑が丘地区を拠点に認知症カフェの運営など認知症になっても安心して暮らせる地域づくりに取り組むどりほっとクラブ、認知症施策を展開する三木市介護保険課の4者が、地域・行政・住民・専門職といった様々な立場で連携し、講座開催となりました。講座は同じ内容で3回開かれ、近隣の自由が丘地区・三木南地区をはじめ、市外からも参加があり、34名が学びました。



◆ 学びから、さらに一歩前へ

講座で認知症の基礎知識を学び、認知症介護の経験を聞いた受講者からは、「認知症サポーターとなったからには、何かしたい。けれど、具体的にどんなことができるか?」という声が寄せられ、講座修了後の次の段階として「学びを行動に移そう」と考える方々が集まり、これからの取り組みを考えています。なかには認知症の家族を介護中の方、過去にお世話経験のある方、地域の民生委員さん、ボランティア活動に関心のある方などがおられ、認知症の本人・家族を自然に受け入れようとする雰囲気が生まれています。また、皆で意見を出し合うと、「認知症の本人・家族が日々の心配事を気軽に話せる相手がいればいい」、「コープ志染という店舗を生かして買い物ついでに寄れたらいい」など、地域にあればいい場のイメージが膨らみます。企画において大事にしているのは、この取り組みが認知症の本人・家族はもちろん、将来の自分や住民にとっても必要で有意義であること。だからこそ、できるかどうかの前に、何が必要かを丁寧に話し合います。地域の生活者である認知症サポーターだからこそできる取り組みが、始まるうとしています。



助成金情報

助成金等名称 (申請等期日・期間)	助成内容	問合せ・申込先
公益財団法人 大和証券福祉財団 令和2年度(第27回) ボランティア活動助成 【申込み〆切】 9月15日(火)(当日消印有効)	【応募課題】 1 高齢者、障がい児者、子どもへの支援活動及びその他、社会的意義の高いボランティア活動 2 地震・豪雨等による大規模自然災害の被災者支援活動 【応募資格】 ボランティア活動を行っているメンバーが5名以上で、かつ営利を目的としない団体(任意団体、NPO法人、財団法人、社団法人、大学のボランティアサークル等)。 【助成金額】 上限30万円(1団体あたり) 総額4,300万円 【助成対象経費】 1 助成対象となる経費の項目は下記のとおりです。 「交通費・旅費」「備品」「消耗品費」「通信費」「会議費」「制作費」「謝金」「その他」 【助成対象期間】(領収書の有効日付) 令和3年1月1日(金)から1年間 【応募方法】 1 所定の「申請書」を当財団事務局宛にご送付ください。 ※申請書は、当財団のホームページからダウンロードできます。 2 申請書のコピーは、必ずお手元に保管ください。 3 お送りいただきました書類の返却はできませんのでご了承ください。 【選考基準】 1 地域における活動の効果・影響力 2 活動予定の具体性 3 活動の継続性 4 社会福祉協議会及び行政等との連携性(注意)社会福祉協議会、行政もしくは共同募金会から、活動状況等のコメントが必要となっています。	(送付先) 〒104-0031 東京都中央区京橋1-2-1 大和八重洲ビル 公益財団法人 大和証券福祉財団 事務局 (問合せ先) TEL: 03-5555-4640 FAX: 03-5202-2014 Eメール: fukushi@daiwa.co.jp (ホームページ) https://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/outline.html
公益財団法人 大和証券福祉財団 令和2年度(第3回) 子ども支援活動助成 【申込み〆切】 9月15日(火)(当日消印有効)	【応募課題】 子どもたちに夢と笑顔を、そして輝く未来につなぐ支援活動 <助成対象の活動例> 1 子どもの居場所づくり活動(環境改善) 2 子どもの学習支援活動 3 貧困家庭の子ども支援活動(貧困の連鎖の防止) 4 育児放棄や子どもの虐待防止活動 【応募資格】 ボランティア活動を行っているメンバーが20名以上で、かつ営利を目的としない団体(任意団体、NPO法人、財団法人、社団法人、大学のボランティアサークル等)。 【助成金額と助成期間】 金額: 上限50万円(1団体あたり) 総額500万円 期間: 1団体あたり最大3年間 最大助成額(1団体あたり)150万円 【助成対象経費】 1 助成対象となる経費の項目は下記のとおりです。 「交通費・旅費」「備品」「消耗品費」「通信費」「会議費」「制作費」「謝金」「その他」 【助成対象期間】(領収書の有効日付) 令和3年4月1日(木)から1年間 【応募方法】 1 所定の「申請書」を当財団事務局宛にご郵送ください。 ※申請書は、当財団のホームページからダウンロードできます。 2 申請書のコピーは、必ずお手元に保管ください。 3 お送りいただきました書類の返却はできませんのでご了承ください。 【選考基準】 1 地域における活動の効果・影響力 2 地域における団体の波及性 3 活動予定の具体性 4 活動の継続性及び発展性 5 社会福祉協議会及び行政、児童相談所等との連携性(注意)社会福祉協議会、行政もしくは共同募金会から、活動状況等のコメントが必要となっています。	(ホームページ) https://www.daiwa-grp.jp/dsf/grant/outline.html

登録者募集!

フェスタ会場で催される講演会や、ボランティア・市民活動団体情報をYouTubeで配信予定!

プラザYouTubeチャンネル
<https://www.youtube.com/user/plazamiki>

YouTube



左のQRコードより、チャンネル登録または、過去の動画配信の閲覧ができます。